

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第164号	氏名	荒木 政人
学位審査委員	主査	小路 武彦	
	副査	河野 茂	
	副査	江石 清行	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>学位論文題名 「Development of new biodegradable hydrogel glue for preventing alveolar air leakage」</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、術後肺胞瘻を防ぐため、これまでの接着力が弱く生体由来材料故の感染性が疑われるフィブリン糊に代わる新たな生体内分解性接着剤の開発を目指すもので、研究目的として妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 本接着剤は、アルデヒド化デキストラン水溶液とεポリリジン水溶液を混合し、シッフ塩基を形成することによりゲル状糊を作製するものであるが、様々な条件下でそのゲル化時間等を適正化し、更にその有効性や毒性をビーグル成犬の胸膜肺実質欠損モデルを用いてフィブリン糊と比較検討している点、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 本研究の結果、新接着剤はフィブリン糊の4倍の接着力を有し、柔軟性に富み、調製が簡単で且つ細胞毒性が少ない等、肺胞瘻閉鎖に理想的な特徴を示すことが判明し、これらの研究結果と考察内容は高く評価できる。</p> <p>以上のように、本論文は新接着剤の開発により術後肺胞瘻予防に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			